

第5回邑南町デイキャンプ事故検証委員会議事録

1. 会議日 令和6年3月26日(火)
2. 場所 邑南町役場本庁2階 大会議室
3. 開会 午後1時
4. 閉会 午後1時16分
5. 出席者
邑南町デイキャンプ事故検証委員会
委員長 中村健太 副委員長 尾原敏則 委員 渡部広明 須崎康臣
高島尊子
邑南町
町長 石橋良治 副町長 日高輝和 教育長 大橋寛
総務課
課長 大賀定 課長補佐 新屋聡士
細貝 芳弘
医療福祉政策課
課長 小笠原誠治 統括課長補佐 安田裕子
教育委員会 学びのまち推進課
課長 高瀬満晃 課長補佐 原拓矢 課長補佐 山崎浩昭
課長補佐 原田千恵美
6. 本日の日程は次のとおりである
 - 1 委員長あいさつ
 - 2 各委員から発言
 - 3 邑南町デイキャンプ事故検証委員会報告書 提出
 - 4 町長あいさつ

開会

大賀総務課長：

失礼いたします。今回は、第5回邑南町デイキャンプ事故検証委員会としておりますが、邑南町デイキャンプ事故検証委員会報告書を提出していただきます。開会に先立ちまして、報道機関の皆様方にお願いがございます。まず、本委員会の検証は、個人の責任追及を目的とするものではありません。個人の責任追及とならないように、またプライバシーに配慮されますようお願いいたします。

続きまして、この度のデイキャンプ中に発生した事故により亡くなられました児童のご冥福をお祈りするため、黙祷させていただきたいと思っております。ご出席の皆様、恐れ入りますが、ご起立ください。

それでは、黙祷はじめ。

黙祷おわり。

皆様、ご着席ください。ありがとうございました。

それでは、この後、邑南町デイキャンプ事故検証委員会報告書を提出していただきますが、これに先立ちまして、中村委員長ご挨拶をお願いします。

委員長挨拶

中村委員長：

委員長の中村です。ここで一言ご挨拶をさせていただきます。昨年10月にこの検証委員会を設置する旨の条例が制定され、そして11月から4回にわたって、検証委員会を開催して参りました。その中で、当初は細かい事実関係等、わからないところもありましたが、委員会を重ねていく中で事実関係も明らかになり、そしてどういうところに問題点があったのか、ということを検証することができたのではないかと思います。

その結果として、本日、検証委員会の報告書を邑南町さんにお渡ししますが、我々としては、この報告書の提出をもって一旦、任務を完了することになります。ここからは、この報告書に基づいて、邑南町の皆様にはこの報告書を参考にして、日々の業務に当たっていただく、おそらくスタートになるんだと思いますので、ぜひ、この報告書をより良い方向に活かしていただければと思います。私からの挨拶は、以上とさせていただきます。

大賀総務課長：

続きまして、各委員からこれまでを振り返ってのご発言をお願いしたいと存じます。尾原副委員長、渡部委員、須崎委員、高島委員の順番でお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

委員から発言

尾原副委員長：

副委員長の尾原でございます。まずは、今回亡くなられた児童のご冥福を心からお祈りするとともに、ご家族に改めてお悔やみ申し上げたいと思います。

私からは、1点だけ申し上げたいと思います。体験活動を実施するに当たりましては、参加する子どもたちの安全を確保するという観点から、スタッフ全員で実地踏査をする必要がございます。特に今回のような危険が想定される活動は、しっかりと体験した上で共有する必要がありますので、今後、十分に注意しながら体験活動の推進に邁進していただきたいと思っております。私からは以上です。

渡部委員：

委員を担当させていただきました、島根大学附属病院高度外傷センターの渡部でございます。今回の事故は非常に痛ましい事故で、一人の小さな子どもの命が奪われるというか、亡くなってしまった、大変大きな衝撃的な事件が起きたと認識しております。今回の我々委員の役割というのは、先ほど委員長もおっしゃたように、再発防止をどのようにすればできるのか、ということにあるかなと思っております。このような事件、実は他のエリアでも起こる可能性を秘めている。今回の検証の中でわかってきたことは、日常の中に実は意外と問題点が潜んでいるということ。ということは、やはり色々なところで、こんなことが起こる前提に物事を考えていかなきゃいけない、ということを改めて確認をさせていただいた事案であったと思います。

今回、私は医療の観点に関してコメントさせていただいたり、ご意見をさせていただいたところでありますが。やはり何かが起こった時に、生命の危うい患者さんが発生した時に、我々はどんな形で対応したらいいのか、ということをも改めて皆で共有できたという意味も大きかったかと思っております。

医学的なことを全ての方ができる、これはなかなか難しいと思っております。現在、心肺停止の患者さんに対しての基本的なBLS、こうしたものは自動車講習の中でも教えられる時代、さらには高校生でも教えられる時代になってきましたので、こうしたことをイベントの中で発生した時に直ちにできるような体制を担保した上で、いろいろなイベントをやっていかなければいけないということだろうと思っております。

今回、検討した内容を、報告書にまとまっているわけではありますが、ぜひこれから行われますイベント等におきまして、この報告書が参考になれば幸いです。以上であります。

須崎委員：

委員を担当しました島根大学の須崎です。今回、このような事件の検証委員

会に呼んでいただきまして、教育の立場からお話をさせていただきました。特に教育の現場においては、子どもたちが学校生活を行っていく、そういった中でちょっとした事故や怪我とか、そういったことも生じることがあるかと思えます。その中で、しっかり子どもたちの安全を確保するという事は、学校でも大切なことだと思っております。

今回こういったマニュアル、報告書を一緒に検討させていただく中で、いかにこういった形、形骸化をしないようなことが非常に大切になってくるかと思えます。こういうふうに事故が起きた時には、その時には、大切だな、重要だなということになってしまおうかと思うんですが、これが形骸化せずに、それぞれ実施していく方々が、どうしてこういったマニュアルができたのか、どうしてこういった報告書が作成されたのか。といったことを、町全体を通しながらバックアップしていただけることによって、実際に、実施するこういった企画をされる方が、どうしてこういったマニュアルを検討しなきゃいけないのかといった時に、こういう痛ましい事件があったと。それを防ぐためにも、こういったことを取り組んでいくんだということに繋がっていくかと思っております。こういったことも、私自身も大学の方で積極的に伝えながら、子どもたちに安全とか指導に努めていきたいと思っております。以上です。

高島委員：

すみません、失礼いたします。委員の放課後児童支援の支援員をしております高島と申します。よろしくお願ひいたします。私は、初めてこの検証委員として関わらせていただき、お役に立てたかどうかわかりませんが、私も普段、毎日子どもを預かっている立場なので、改めて身の引き締まる思いがありました。

子どもたちは普段の遊びもそうですが、活動や行事をすれば必ず危険、リスクというものは背中合わせでございます。現場に携わるスタッフは、今回の検証でも出たように事前準備やスタッフ間の連携とふり返りが非常に大切になると改めて強く思うところです。

私から行政の方にお願ひとしては、行政の仕事としては非常に難しい面もあるかと思えますが、町内で行われる行事ごと等、特に子どもが参加する行事は場合によっては担当課となる行政の職員の方は、ある程度把握しておくのも大事ではないかと思えます。併せて主催者側も事前に事業内容や安全管理の事前報告が必要な活動もあるのではないかと思えます。

また、瑞穂ハイランドは、AEDの設置がされていなかったことなど、やはり行政で指導すべきであったのではないかと思えます。

今回のような悲しい事故が起きたことで、どうか子どもたちの活動や体験が減ることが少なくならないように、それを切に願うところです。だからこそ、

現場のスタッフは人様の子どもを預かっているということを心に留めていただいて安全管理についても今一度見直していただき、行政も指導していくということが必要になるかなと思います。

島根県西部の児童クラブの訪問をする立場として、さらに安全管理の徹底を伝えていきたいと思っております。子どもは町の宝でございます。その命が失われたというのは重大な事であり、二度とこのような悲しい事故が起こらないことをお願いしたいと思います。改めまして、被害に遭われた児童さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。以上でございます。

報告書の提出

大賀総務課長：

委員の皆様ありがとうございます。それでは、次に中村委員長から石橋町長へ報告書の提出をお願いいたします。

町長挨拶

大賀総務課長：

それでは、最後に邑南町デイキャンプ事故検証委員会報告書の提出を受けまして、石橋町長がご挨拶申し上げます。

石橋町長：

はい、それでは私の方から、各委員の皆様にはまずはお礼、そして私の決意表明を述べたいと思います。

昨年の11月2日に第1回目の検証委員会をスタートしたわけでありまして、これまで大変ご多忙の中を精力的に検証いただき、本日、中村委員長様から報告書をいただいたわけですね。様々な角度からの確なご指摘をいただいた内容ということで承知しております。また、先ほどは委員長をはじめの確なご指摘をいただきまして、本当にありがとうございます。改めて、委員長をはじめ各委員の皆様には、そのご労苦に対し、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、私の決意表明であります。いよいよこれからは、我々行政が本日の報告書を基に、いかに再発防止に向けて行動するかが問われていると思います。私自身、行政のトップとして、全職員へのマニュアル等を通じた啓発、研修、啓蒙、そして訓練の繰り返し、あるいはチェック体制の強化を行って参りたいと思います。こうしたことを行うことによって、真に安心安全の町と言われるように、職員一丸となって取り組んで参ります。

そして最後であります。これからは私自身、一人の人間としてご遺族に対し、誠心誠意、真摯に向き合っていきたいと考えております。長い間、本当に

お世話になりました。ありがとうございました。

閉会

大賀総務課長：

以上をもちまして、邑南町デイキャンプ事故検証委員会報告書の提出について終了いたします。なお、報告書でございますが、先ほど邑南町公式ホームページに掲載いたしましたので、ご覧いただきたいと思います。皆様、ありがとうございました。